

## 第11回 ひょうご消費者ネット シンポジウム

### 「自分らしい暮らし方を考える“正しい終活あれこれ” 報告

15年1月24日（土）三宮コンベンションセンターにてシンポジウムを開催しました。今年、兵庫県交付金事業「知ってください“ひょうご消費者ネット”を！♪あなたの身近にこんな消費者問題の専門家があります」の第二弾として公益社団法人 消費者関連専門家会議（ACAP）様と連携して実施しました。

基調講演は、～よりよいお買い物のために～「良いものを見極める眼について」講師には、(株)消費科学研究所 社長でありACAPの関西支部支部長でもある島谷 克史様を迎え、「先義後利」を経営理念に掲げる老舗百貨店で品質管理や経営戦略の経験をもとに、賢い消費者になるには、「自分なりの物差しを持つことが大切である」と具体例を挙げて多くのご示唆をいただきました。

参加者のアンケートからは、「企業側からの切り口について良い商品の見分け方がよく分かった。」「琴線に響く言葉があり、説得力があった」と大変好評でした。

2部は、消費者情報ネット・コネット様による寸劇「いざという時のために・・・お葬式を考える」です。アツと言う間に会場に祭壇が設置され、芸達者な演技で、悲しみ慌てる親族たちが、事業者の言いなりの契約を結び高額なお葬式が行われる様子が手に取るように良～く分かりました。この寸劇には、「巻き戻し」があり、自分の思いをエンディングノートに示すことの大切さや注意点が振り返れる場面があり、しっかり勉強ができました。参加者からは、「芸達者な演技に大いに笑いましたが、内容は笑えませんね。」「いざと言うときの契約の問題点を確認できました。」と、笑い声が絶えない学習会になりました。

最後は、クイズで学ぶ“正しい終活”です。

会場のみなさんに問題を出し、回答は、手元の○×用紙を掲げていただきました。全員正解は難しく、終活は一筋縄ではいきません。正解と解説は、スクリーンを使いながら正面に並んだ「ひょうご消費者ネット」の弁護士や司法書士・消費生活専門相談員ら5人が答えました。テーマは、遺言・相続・成年後見制度・年金・葬儀・互助会からの出題で問題は12問です。参加者の感想には、「専門家の解説が良かった」「クイズ形式が分かりやすかった」「参加型の勉強でおもしろかった」「クイズの回答・解説がもらえるのは有難い。」「TV番組のようで分かりやすかった」と大変好評でした。

終活のテーマは、人それぞれ様々です。ここを出し切れなかったものは、質問カードをお渡しして記入していただきました。回答は、後日、当会のホームページで行うこととなりますが、専門家が個別の質問にもお答えし、会場のみなさまとキャッチボールができるように工夫しました。

また、今回のシンポジウムは、事業者さまと連携し多くのご支援をいただきました。参加の皆様にも、冬に有難い日用品や立派なエンディングノートを持ち帰っていただき、テーマにふさわしいお土産付きシンポジウムになりました。各方面に感謝です。

これからもNPO法人ひょうご消費者ネットは、消費者のみなさまの暮らしの強い味方です。知ってください♪あなたの身近にこんな消費者問題の専門家があります

酒井 富美子